

職員室から・・・

2009, 9, 9

加藤由美子

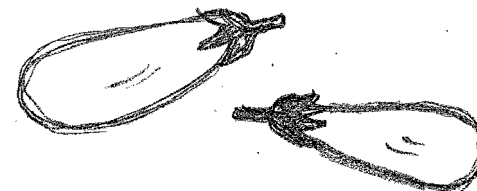
○職員室の窓から、園庭で遊んでいる子どもたちの姿を見ているのはとっても楽しいのです。一生懸命な姿は魅力的！惹きつけられます。夏休みも終わって、ひとまわり成長した子どもたちの姿が見られます。お母さんが手塩にかけて過ごして下さったであろうことを思います。

ある日のこと、窓から見ていると、走っていた赤ばらさんの男の子A君が転びました。A君が泣かずに立ち上がると、そばで砂遊びをしていたB君がA君のひざについた砂を払ってあげていました。するとC君D君E君F君が走りよってきました。(きっと、大丈夫？うん、などという会話がなされたでしょう) C君が走り出しました。するとD君E君A君が続きます。リングリング(黄色いわがつながっている遊具)のところから青ばら玄関の方へ、そしてUターンしてジャングルジムへ・・・みんなジャングルジムに登り始めました。一番上にいく子、途中で止まる子、上らずにいる子・・・とさまざまな様子、しばらくすると、みんな降りてきて、一人の子が走り始めました、するとまたみんな列になって走ります。途中でその姿を見ていたB君が列に加わって走りはじめました。今度は、伏せてある大きな鉢のところに止まり、少しするとまた走り出し～～～そこにF君が加わり～～走～ 誰が入ってもあまり気にしない、みんなで走ることを楽しんでいる様子が心地よく目に映ります。誰もが出入りできる“ゆるさ”がいいな～ジャングルジム～～走～～リングリング～～走～～亀の池～～走～～～～～～～何往復もして連なって走る赤ばらさん、あ！大きな石を見つけて手に持って走り始めました。危ないな～と思うまもなく保育者がそっと近づいて石を預かっていました。赤ばらさんたちは、そんなことを気にする様子もなくまた走り始めました。フフフ・・・

まだ、青ばらさんのようにイメージを伝え合ってストーリーのある遊びを作り上げるところまではいっていないので、みんながつながって走る楽しさを十分に味わって、友だちと一緒に楽しく感じているという状態です。一学期は、友だちよりも担任を求め、一人ひとりだった赤ばらさんが、群れて遊ぶまでに成長してきた姿が嬉しくてずっと姿を追っていると、あ！窓のすぐ前で、赤ばらのI君が(遊びの延長で)G君を押したらG君は地面に倒れました。G君は地面に倒されたままで動きません。(アピールしている感じ)押したI君は、起き上がらないG君を見ると走り去ってしまいました。(きっと、困ったのでしょう)するとG君は立ち上がって、大きな声で泣きはじめました。遠くにいるI君に訴えるような泣き方！あまり痛くはなかったらしいので、どうするかと見守っていると、そばにいたHちゃんがG君の砂をはらってあげていました。G君は泣くのをやめて、なにやらHちゃんと話をしていましたが、二人で手をつな

いで玄関に入ってきました。私は興味津々で隠れながらついていくと、G君は、担任にピッタリと抱きついて訴えていました。「そうか、そうか、嫌だったね～あとで聞いてみるね」と担任はいいながらG君をしっかりと受け止めていました。・・・よかった・・・自己主張できてるし、担任に言葉で思いを訴えることも出来ているし、自分で気持ちを切り替える事もできている、そして、思いやりをもって友だちのことを心配してあげることもできている・・・赤ばらさんがずいぶん育っていることを感じる姿でした。

○“しろいなす”をいただきました。ナスは濃い紫色しか知らなかったの、真っ白ななすに驚きました。いただいた方に聞いたのですが、料亭に出すものだから・・・ナス独特の黒っぽい色が出なくて、きれいに仕上がるのかもしれないね。しろいなすは、クラスの子どもたちみんなで食べました。私もいただきました、色がにこらずきれいで、且つ美味しかったです。



○松の木のブランコ

大きなままごとの家のすぐ前にある花壇が草なのか花なのか分からないほど草が生い茂っていたので、草取りをしていると、白ばらのK君とHちゃん、赤ばらのT君が手伝ってくれました。花と草と見分けが付きにくいので、一本一本「これ、草？」「これ、草？」と確認しながら丁寧に草取りをしてくれました。しばらくすると、「見てみて～、ほら～」というK君の声が聞こえました。見ると、松の木の枝につかまってぶら下がっていました。花の周りを囲む“くい”の一本に足を乗せると枝につかまることができると教えてくれました。その姿にすぐにHちゃんも枝にぶら下がって、きがつくと、子どもたちの長い列ができていました。みんな律儀にきちんと並んで待つ・・・約束をきちんと守ろうとする白ばらさんの様子がみられて・・・けなげな姿。おまけにその時には、片付けも終わりに近づいて、給食の準備を始める時間でした。でも、私が給食の時間だと言うまでもなく、並んでいた子どもたちが一回やると玄関へ向かっていったのです・・・みんな素敵な姿でした。

